

言葉と発達

いまどき子育て
アドバイス



「ことばの遅れ」 とは？



言語聴覚士
中川信子

「ことばの遅れ」とは？

「ことばの遅れとは何か？」という難題に突き当たっています。ことばの遅れ」に初めて出合う人たちに、分かりやすく説明しなくてはならなくなつたのです。

夏の間、脳みそを絞っていたのですが、どうにもよく分からなくて、脳みそが悲鳴を上げておりました。が、秋風を感じ始めたなら何か「シッポ」みたいなものが見えてきたような感じ。

保健師のみなさんにとっては「なーんだ、そんなことか」っていうことばかりかもしれないが、私としては、新たな面が見え始めたゾ、って感じがしているんです。

うまくことばにできるかどうかわかりませんが、その「シッポ」をたぐり寄せてみたいと思います。書くことに

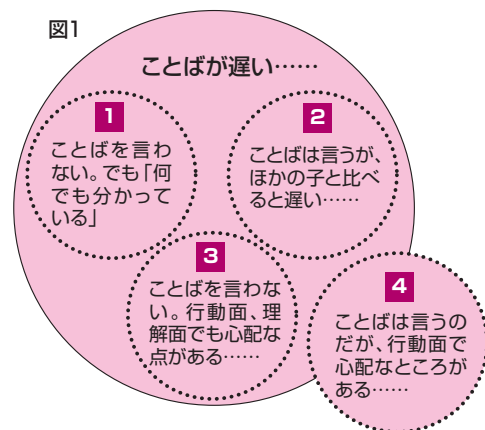
よって考える、という作業にお付き合
いください。

以下に想定しているのは、おおむね
1歳半から2歳ごろのお子さんです。

親御さんの訴え 「ことばが遅い」

1歳半健診から2歳代の子の親御さ
んからの「ことばが遅い」との訴えに
はいろいろな内容が含まれています。
図にしてみました。(図1)

- 1) ことばは出ていない。でもこちら
の言うことは何でも分かっている(か
ら心配していない)。
- 2) ことばは出ているが、数が少な
い。ほかの子と比べると遅い。
- 3) ことばを言わない。それだけでは
なく行動面でも心配なところがある。
そして4) もあります。「ことばは言
うものの、行動面で心配、気持ちが通
わない感じがする」というもの。これ



は、兄弟や身近に自閉症などの障害を
持つお子さんがいる人だと早く気づく
ようです。

「ことばが遅い」の内容を 「ことば・三つの意味」に 従って整理

まず最初に「ことば」ということば
(用語)の定義をしなければなりません。
しつこくして申し訳ありませんが

から出る水 ②タンクに入っている水

③引き金を引く力でしたね。

ですから「ことばが遅い」という場
合にも、この三つのことを分析的に、
しかも総合的に考えなければならな
いということに、今、初めて! 気づい
たのでした。

親御さんやスタッフが「ことばが遅
い」と言う場合、ことばのどの側面に
着目しているのか、整理する必要があ
りそうです。

つまり、

1) 音声言語としての「ことば」が出
ていない。

2) 1)に加えて、理解が思わしくな
い感じがある。

3) コミュニケーションがとりづらい、
気持ちが通じ合わないような感じがす
る。

この三つのうちのどれであるか、とい
うことです。

さらに、それを分けて考えていきます。

「音声言語としてのことばが 出ているなら」

この内容を二つに大別してみます。
① 音声言語としてのことばは出ていな
いけれども、大人からの話しかけ(音
声言語)はよく分かっている。

親御さんのことばで言う「ことば
は言わないけど、何でも分かっている」
です。このあとに「だから、心配して
いません」が続くことが多いですね。
この場合に親御さんが「何でもわか
っている」と判断する背景には、
◆視線がしっかりと合う(通じ合えてい
る実感がある)。

◆笑顔が多く、表情が豊か(子どもが
何を考えているか、読み取りやすい)。
ということが挙げられると思います。

② 音声言語としてのことばが出ていな

「ことば」には三つの意味があります。
(地域保健2005年10月号)

①言えることば (Speech・音声言語)
②わかることば (Language・概念・言
語知識)

③コミュニケーション(伝えたい気持
ち・交流・共有)
です。(図2)

水鉄砲にたとえると、水鉄砲の①口

図2

「ことば」三つの意味	
水鉄砲にたとえると	
①言えることば (音声言語・Speech)	←水鉄砲の口から 出る水
②分かることば (Language・概念・ 言語知識)	←タンクに入っ ている水
③コミュニケーション (伝えたい気持ち・ 交流・共有)	←引き金を引く力

いだけではなく、話しかけ(音声言語)
に対する反応があやふやで、通じてい
ないのではないかと思われる。

こういう状態があったら、最初に
「音への反応はどうかしら?」(聴力の
確認)と考える必要があります。中耳
炎やそのほかの理由で音の入りが弱
くなっているかもしれないからです。
「通じていない」のではなく「聞こえて
いない」ということです。

問診表によくある項目「後ろから呼
んだときに振りかえりますか」は、こ
のことをたずねている項目ですね。

「理解が悪い?」と 考える前にまず 「聞こえの状態」の確認を

耳(聴力)の状態としては三つ考え
られます。

a 聞こえ(聴力)に問題はない(後
ろから呼んで振りかえる)。

b 聞こえが悪い(聴力低下)。

c 耳は聞こえているけれども、注意の向け方が限られているために音に反応しない。
この三つです。

a 聴力に問題がないだろうと思われるのに、言語理解が不十分な場合。考えられることは、知的発達遅れ（知的障害の可能性）です。もちろん「おくてタイプ」の「ぼーっとした」子である場合も大いにあります。

また、環境的な問題としては、周囲の大人の話しかけ方が年齢に比べて高度すぎたり、声が小さくて子どもに聞き取りにくかったりと、話しかけ方の不十分さが原因している場合もあるでしょう。テレビの大音量でのつけっぱなしは何かやめたいものです。

b テレビに熱中しているわけでもないのに、後ろから呼んでも振り向かない。ただし、視線はよく合い、気持ち

ちが通じ合っている実感はある。前からの話しかけだと、おおむね応じられる。

c 呼んでも振り向かないのに、お菓子の袋を開ける音とか、特定のテレビのCMが始まったりすると、即座に飛んでくる。

b のお子さんは、聞こえが悪い可能性もあります。聴力のようすをさらに注意深く観察してみる必要があります。

年齢的な発達の関係から注意を向けるにいいだけで、おいおい振り向いてくれるようになるとありますが、ごく少数、難聴のお子さんがある可能性があります。

c の音刺激に選択的に反応するお子さんで、目が合いにくい、ひとり遊びが多い、マイペースが気になるといことがあったら、広汎性発達障害の範疇に入るかもしれないお子さんなの

で、フォローしてあげましょう。もちろん、興味のないことには反応しないという単なるユニークな性格傾向である場合もあります。

「音声言語としてのことばは出ていないけれども、大人からの話しかけ（音声言語）はよく分かっている」の中身

次に1)「音声言語としてのことばは出ていない」けれども①大人からの話しかけ（音声言語）はよく分かっている」について考えてみます。

この中には三つの状態が考えられます。（図3）

a ことばだけの話しかけで、日常生活に必要なことはおおむね通じる。初めての場面でも混乱しない。おとなの動きを注意深く見ているようすがあ

る。

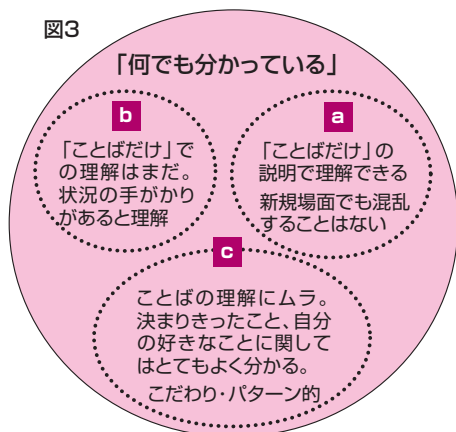


図3

通じないが、状況や動作などの手がかりがあると分かる。

お皿の片付けをしながら「片付けたらお出かけするよ」と言ってもただ遊び続けるだけだが、お母さんが外出用のバッグを準備し、部屋の電気を消して、カギを持ち「お出かけするよ」と言えば、すぐに玄関のほうに行くというような場合です。

c 決まりきったことや、

自分の興味のあることだとよく分かる。ことばの理解にムラがある感じがする。

子どもは多かれ少なかれこういう傾向を持っています。それが、親御さんにとって扱いにくいと感じるほど顕著なら興味の幅の狭い広汎性発達障害範疇のお子さんである可能性もあり、また、単なる「ユニークちゃん」である可能性もあります。

フォローしながら、見ていけるといいのですが。以上を図にしたのが図4です。

続きはまた次回。

図4

「ことばが遅い」

